

標準委員会 システム安全専門部会 シビアアクシデントマネジメント分科会
第 20 回シビアアクシデントマネジメント分科会議事録

1. 日 時 2014 年 2 月 28 日 (金) 15 : 30～16 : 30

2. 場 所 東京大学 工学部 8 号館 8F、809 会議室

3. 出席者

(出席委員) 岡本主査(東大), 杉山副主査(JAEA), 鎌田幹事(原安進), 井田委員(JANUS),
及川委員(東芝), 織田委員(日立 GE), 倉本委員 (NEL), 黒岩委員(MHI), 柴
本委員(JAEA), 鈴木委員(原電), 竹越委員(関電), 出町委員(東大), 古谷
委員代理(電中研, 西委員代理), 廣川委員(TEPSYS), 松尾委員 (東電), 涌
永委員(中部電) (16 名)

(欠席委員) 阿部委員 (東北大), 守田委員 (九州大) (2 名)

(常時参加者) 河井 (原安進) (3 名)

(オブザーバー) 池田(原情シ) (1 名)

(敬称略)

4. 配布資料

S2SC20-1 第 19 回 SAM 分科会 議事録(案)

S2SC20-2 人事について

S2SC20-3-1 第 55 回標準委員会の議事録

S2SC20-3-2 第 55 回標準委員会コメント対応表 (4 件) 及び標準修正箇所抜粋版

S2SC20-4 第 2 回書面投票コメント対応表 (9 件) 及び標準修正箇所抜粋版

S2SC20-5 SAM 標準に関する対外発表に関して

S2SC20-6 シビアアクシデントマネジメント分科会のスケジュール (案)

参考 1 第 19 回 SAM 分科会議事メモ (案)

参考 2 SAM 標準の PSAM12 向け投稿論文

参考 3 保全学会学会誌 (解説記事) 向け投稿論文

参考 4 シビアアクシデントマネジメント分科会 委員及び常時参加者

5. 議事内容

議事に入る前に, 鎌田幹事より, 委員の出席者が 16 名であり, 定足数を満たしているこ
との確認が行われた。

5.1 第 19 回分科会議事録の確認

第 19 回分科会の議事録（配布資料 S2SC20-1）について確認が行われ、特にコメントはなく議事録は正式に承認された。

5.2 人事について

配付資料 S2SC20-2 に基づき、以下の人事案件について審議の結果、承認された。

- ・ 常時参加者の登録（承認）
野村 治宏（関西電力）
- ・ 常時参加者の解除（報告）
大田 貴之（関西電力）

5.3 第 55 回標準委員会の結果報告

鎌田幹事より、配付資料 S2SC20-3-1 及び S2SC20-3-2 に基づき、第 55 回標準委員会におけるコメント対応結果（4 件）について報告された。コメントを踏まえ、マネジメントクラスに関する記載表現の見直しを行って第 2 回書面投票に移行したことが報告された。

5.4 第 2 回書面投票コメントに対する対応方針について

鎌田幹事より、配付資料 S2SC20-4 に基づき、第 2 回書面投票のコメント対応方針（9 件）について説明があった。議論の結果、コメント No. 4 及び No. 5 に対する回答案については、以下の主旨で記載することとなった。

- ・ 標準本文の基本要件は必要十分であり、また、標準に関する理解を深めるためには今後も附属書の充実と新知見の適切な反映が必要と考える。

5.5 SAM 標準に関する対外発表に関して

鎌田幹事より、配付資料 S2SC20-5、参考 2 及び参考 3 に基づき、PSAM12 及び保全学会誌へ投稿を行ったこと、また NUTHOS-10 のアブストラクトを作成しレビュー中、との説明がなされた。また、岡本主査より、今後の対外発信を推進していくために、以下のような活動を積極的に実施すべきとの方針が示された。

- ・ 原子力学会誌解説記事への投稿や、標準の講習会開催
- ・ 海外機関との情報交換
- ・ PSAM のペーパーを基としたジャーナルへの論文投稿

5.6 その他

今後の活動の方向性について、以下のような意見があった。

- ・ マネジメントクラスの運用については、シンポジウムやワークショップ等を通じて、事例を収集整理する活動が有益ではないか。
- ・ IAEA 等の国際機関と情報交換の場を設け、海外を視野に入れた発信を推進することが

必要ではないか。

5.7 今後のスケジュールについて

鎌田幹事より配付資料 S2SC20-6 に基づき、今後のスケジュールについて説明があった。公衆審査の締め切りは3月9日、システム安全専門部会、標準委員会が各々、3月7日、3月14日に予定されており、コメントがあった場合は時間的制約からメール等で対応を行うこととしたい旨の説明があった。

以 上